

危険物新聞

第4回 危険物取扱者試験 2月14日(日)、府大で

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成10年度第4回危険物取扱者試験を2月14日(日)、堺市の大坂府立大学で次のとおり実施する。

試験日	2月14日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付日	1月21日(木)、22日(金)
願書受付場所	大阪府職員会館(新別館北館4F) (地下鉄「谷町4丁目」下車、1A出口スグ)

*試験当日の試験会場集合時間は、午前は9時30分、午後は1時となっている。

[受験資格について]

- 甲種 ① 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業した者。
 ② 高専・短大及び大学で、化学の授業科目を、15単位以上取得した者。(学生でも可)
 ③ 乙種免状交付後、2年以上危険物取扱の実務経験者。

乙種 受験資格の制限はありません。

丙種 受験資格の制限はありません。

第540号

発行所 財團法人 大阪府危険物安全協会
編集発行人 松村光惟

大阪市西区新町1丁目5-7
四つ橋ビル
TEL06(6531) 9717・5910
定価 1部 60円

準備講習会は、府下7会場で

受験準備講習会は、甲種、乙種4類について、大阪、堺、吹田など府下7会場で開催する。(8頁参照)

なお、今回は丙種の準備講習会は行なわれず、平成11年6月の試験に際して実施の予定

土・日コースは電話で予約を

土曜・日曜コース(共に定員70名)は、電話予約による受付を行なっている。希望者は、電話(06-6531-9717)で予約されたい。(ただし、満席になり次第締切り。)

保安講習について

平成11年2月期の保安講習は下記のとおり実施される。

なお、平成11年度については、平成11年6月下旬より実施の予定である。

◇その他・一般

回数	開催日時(予定)	会場	所在地又は最寄駅
53	2月3日(水)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
54	2月4日(木)午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
55	2月8日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
56	2月10日(水)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
57	2月15日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
58	2月16日(火)午後	* 堺市民会館	南海・高野線・堺東駅
59	2月17日(水)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅

注1. 保安講習の講義時間は3時間です。

(開講時間は、講習会場によって若干異なります。)

注2. 会場欄中*印の会場は駐車可。(ただし、堺市民会館は有料。)

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

危険物Q&A



問

イエローカードについて教えて下さい。またイエローカードの作成及び運用について留意する点があれば併せて教えて下さい。

答

1 イエローカード導入の経緯及び内容

労働者保護の観点から化学物質の安全な使用を目的として、化学物質の名称、物理的性状、危険性、製造者、事故時の処理方法等の情報を提供する書類であるMSDS (Material Safety Data Sheet; 製品安全データシート) の制度が米国のOSHA (労働安全衛生局)により始められ、各国においてもこの制度が導入されてきました。ILO (国際労働機関)においても1990年にMSDS制度を含む条約が採択されています（我が国は未批准）。

我が国においても、(社)日本化学会議（以下「日化協」という。）が中心となり、1990年頃から自主保安の観点からMSDSの普及が推進されています。

ただ、MSDSには数多くの情報が掲載されているため、事故発生時にその中から必要な情報を迅速に得ることは、必ずしも容易ではありません。特に危険物をはじめ有害性のある物質等（以下「危険物等」という。）

の運搬などにおいては、取り扱われる対象品の種類も多く、その困難さがさらに増大します。その上、積載する危険物等について、その性質等をすべて把握していない可能性があることから、これまでも事故時に適切な初期対応及び消防機関等に対する適切な情報提供がなされない事例も見られました。

そこで、消防庁をはじめ関係省庁の協力のもと日化協が中心となり、掲載する情報を必要最小限とし、一目でその物質の大まかな性状、緊急時の措置等を的確に理解できるように記載したものを、事故時の措置・連絡用資料（又は緊急時連絡カード、通称：イエローカード）として位置付け、そのモデルを作成しました。日化協では、会員各社に対してレスポンシブルケア（化学物質の総合安全のための事業者による自主的な活動）の一環として、取り扱う物品毎にイエローカードの作成を促進し、さらに連絡体制の整備を行い、運搬又は移送時にはこれを車両の運転者が携行するよう周知、指導しているところです。

平成9年8月5日、静岡県内の東名高速道路において脂肪酸クロライドを積載したタンクローリーが横転事故を起こし、社会的に大きな影響を与えたことは記憶に新しいところです。このことを踏まえ、危険物等の運搬時の事故防止と事故発生時に迅速な処理が行われるよう、イエローカードの携行を徹底していく必要があります。なお、イエローカードの作成、運用に関しては、以下の点について留意する必要があります。

2 イエローカードの作成上の留意点

(1) 特性表示については各種異常・事故等の実態を想定し、必要な危険性情報を出来るだけ多く表示する。例えば、通常の状態では大きな危険性はないのに、水と反応すると極めて危険性の高

時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT

先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所等での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが屈折する画期的なはしご車



SUPER GYRO LADDER WT

水路付はしご車 MLGS4-30W
高所等での消火活動に威力を発揮する
大容量放水の水路付はしご車



MORITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22



大型化学車
MC-BC



『省力化合格機種』

泡原液搬送車

株式会社モリタ

〒544-8585 大阪市生野区小竹東5丁目5番20号
Tel.06-756-0110 Fax.06-754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

い場合には、その旨の危険性も表示する。その他の記載事項についても、製造者として危険性が予見できるものは、特記事項欄も利用して記載する。

- (2) 水又は空気と反応したり、加熱されて毒性・腐食性の物質を生じたりするもののうち、通常大きな危険性のないものについては、イエローカードを作成していないものも見受けられるが、事故時の対応については同様に大きな支障があるので、早急に作成するようにする。
- (3) 緊急連絡先の荷送会社(荷主)は24時間対応可能な事業所等とする。原則的には運送時の化学品の所有権のある会社とするが、専門的な対応が困難な場合は、製造元や荷受人に緊急連絡先を委託するなどの体制を確立しておく。

3 イエローカードの効果的な運用について

- (1) 輸送している化学品以外のイエローカードは携行しない。納品書等とイエローカードをセットする等の方法で徹底を図る。
- (2) 品名についてはイエローカードへの記載と車両への表示を対応させる。総称名でイエローカードを作成している場合は()書き等で個別化学名を追加し、理解し易いようにする。また、通称名、別名等がある場合は、必要に応じて記載することが望ましい。
- (3) 携行しているイエローカードは運転席の見易い場所に置くとともに、事故発生時には現場に到着した消防職員、警察官又は道路公団職員等に速やかに提出し、必要な情報を提供する。

4 おわりに

以上のことから、適切なイエローカードの作成、効果的な運用は、危険物等の運搬又は移送時に事故が発生した場合、被害を軽減・防止する上で大変有用と考えられるので、なお一層の普及と活用が望まれます。

(財)全国危険物安全協会提供)

*消防庁関連参考通知

「危険物等の運搬又は移送中における事故時の措置・連絡用資料の送付について」

(平成7年11月13日付け消防危第153号各都道府県消防主管部長あて 消防庁危険物規制課長通達)

「移動タンク貯蔵所の移送中における事故防止に係る指導について」

(平成9年8月8日付け消防危第84号各都道府県消防主管部長あて 消防庁危険物規制課長通知)

「危険物運搬車両の事故防止等対策の実施について」

(平成9年12月12日付け消防危第116号各都道府県消防主管部長あて 消防庁危険物規制課長通達)

イエローカード等 収納ケース作成・頒布

タンクローリーには、完成検査済証、定期点検記録等の書類を備えつけるよう危政令で定められているがイエローカードも同じ収納ケースに収納しておいた方が、管理もしやすく、移送時の事故時も被害の軽減、防止に役立つので、イエローカード収納ケースを本会(大阪府危険物安全協会)で作成頒布している。



収納ケース；地は黄色で、文字・縁どりは黒色

購入希望の向きは、本会(TEL06-6531-9717 FAX06-6531-1293)へ連絡されたい。

生地は布製であるが防炎処理加工し、もちろん色はイエローで黒の縁どり、ケース上部には反射シートも貼付され、両面テープとマジックテープで車両のどこにでも取り付けられるよう工夫されている。

(35センチ×30センチ、ファスナー付)

我が社の保安対策

「レスポンシブル・ケア活動の展開
とISO14001認証取得を目指して」

〈豊中市〉

三菱瓦斯化学(株)大阪工場

1. はじめに

当社は、大正7年に創業した旧三菱江戸川化学(株)と昭和26年創業の旧日本瓦斯化学(株)が昭和46年10月に合併し、三菱瓦斯化学(株)と改称した会社であります。

現在、東京工場・新潟工業所・水島工場・四日市工場・大阪工場・浪速工場・山北工場・鹿島工場の8事業所で生産活動を行っています。主要製品は、メタノール・アンモニア・過酸化水素・キシレン製品・エンジニアリングプラスチック・電子材料プリント基盤・脱酸素剤等、基礎化学品からファインケミカル、機能材料に至る、幅広い領域に事業を展開する総合化学会社です。

大阪工場は、大阪市と豊中市を境界としている神崎川の豊中市側の工業地域に位置し、昭和6年に発足しました。敷地面積は約33,000m²でポリカーボネート樹脂の生産及び加工ならびに研究開発を行っており、約150名の従業員が勤務しています。

2. レスponsible・ケア活動

当社では、『化学にもとづく幅広い価値の創造を通じて、社会の発展と調和に貢献する』ことを経営理念として、レスポンシブル・ケア活動を展開し、基本方針を『無事故・無災害と環境保全』と定めています。

レスポンシブル・ケアは、全国で100社を越える化学企業が加盟する日本レスポンシブル・ケア協議会を中心として、労働安全衛生・保安防災・化学品安全・環境保全の4分野毎に、年間重点実施項目を定めて、活動を推進しています。レスポンシブル・ケアとは、直訳しますと「責任ある配慮」を意味し、化学物質の開発から製造、流通、使用、最終消費を経て廃棄に至る全サイクルにわたって環境、安全、健康を確保し対策を実行し改善を図っていく自主管理活動であります。

当社では、このレスポンシブル・ケア活動の一環として、環境保全分野の重点実施項目に、「環境管理システムの構築」を定め、推進しています。この活動で、

すでに2事業所がISO14001認証取得しています。又、今後次々と認証取得計画がたてられています。

レスポンシブル・ケア活動においては、毎年、事業所の内部監査及び本社監査チームによる監査が実施され、継続的改善を図っています。

大阪工場においても、実施項目を推進するため、具体的な改善項目を設定し、全工場的にレスポンシブル・ケア活動及びISO14001認証取得を目標に取り組んでいます。



同社で行なわれる放水訓練

3. 安全管理活動

(1) 安全管理の推進

工場敷地内には、生産プラント・パイロット・試作プラント等の危険物取扱施設があり、生産および工程改善ならびに新規製品開発の研究を行っています。このように規模、使用目的の異なる設備があり、部門に応じた管理が必要となっています。

無事故・無災害・無公害を達成するには、ひとりひとりが問題に応じた対策の確立やその実施に積極的に関与、参画し各々の役割を十分に果たしていくことが安全操業に繋がると考えています。このため、各職場にヒヤリハット改善ノートを設置し、経験したこと・見たこと・予知したこと・設備改造意見等を記入する「危険予知ヒヤリハット改善ノート活動」を行い安全意識等の感受性向上を図っています。ヒヤリハット改善ノートに報告された代表的な事例は、安全衛生委員会に報告され、必要に応じて横展開を行って、類似災害の防止に努めています。

(2) 事前評価

プラントの新設、増設、改造、変更あるいは設備、機械の導入にあたり、事前に予想される安全性について

て評価を行い、設置された設備・機械については、操業前の安全点検を行い不安全要素を排除して、災害の未然防止に努めています。又、開発された製品については、新製品審査により、取扱物質および品質の安全性の審査も行っています。

4. 保安管理

(1) 火気取扱工事

工事着工前の安全確認と工事に係わる事故・災害の防止を図るために工場内工事許可書制度があります。これは工事管理部門工事担当者が起票し、工事依頼課と共に工事設備の安全化、対象物質の注意点、必要保護具のチェック等の事前確認を行い、工事管理部門課長及び工事依頼課長に工事及び火気工事の許可を得るもので、更に、作業者は工事前にチェックカードで事前打合せ通りに準備できているかの安全を確認後、工事に着手しています。

(2) 安全パトロール

総括安全管理者による総括安全パトロール、安全衛生委員と職場代表による5Sパトロール、各自の職場をパトロールする職場パトロールで、設備や作業環境の不具合箇所の摘出を行い、潜在危険の排除を行っています。又、不安全行動については、その場で注意しています。

5. 保安教育

(1) 教育

危険物の取扱職場では、危険物取扱者免状取得を必須と位置づけ全員が取得しており、3年ごとの危険物取扱者保安講習には、責任者のみの受講ではなく取得者全員を受講させ安全意識の高揚を図っています。

又、近年、初期救急の重要性が言われており普通救命講習への参加を促進しています。

(2) 訓練

防災訓練は春の火災予防運動で消火設備の単位操作訓練、秋の火災予防運動では避難訓練、通報訓練、更に火災発生を想定し、通報および消火放水訓練の総合訓練を工場の行事として毎年実施しています。

日常訓練では、阪神淡路大震災で効果を発揮した札掛け訓練及びエアーラインマスク等の保護具装着訓練を各職場で実施しています。

又、新入社員教育では、豊中防火安全協会の主催する新入社員防災研修会に参加し、消火器・消火設備等の取扱方法の訓練を受け、初期消火の重要性を認識しています。

当工場には自衛消防隊が3班あり、それぞれ可搬式動力ポンプを保有しています。自衛消防隊は全員参加で職場毎に分担が決められており、毎水曜日に可搬式動力ポンプを操作し放水訓練を実施し、隊員のレベルアップを図ると共に緊急時に備えています。

6. おわりに

当工場の保安活動の一端を紹介させて頂きましたが、安全と保安防災の確保は、日常の教育と訓練が不可欠であり、又、終わりもありません。当工場は『無事故・無災害と環境保全』の基本方針のもと、今後とも全員参加で事故・災害のない工場をめざし、尚一層の努力を続けて行く所存です。

以上

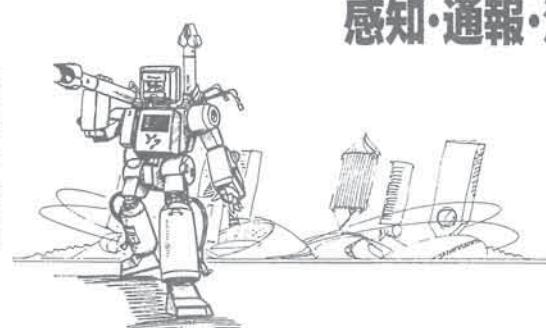


セイフィ & フューニティ

防災にまつわる環境づくり
セイフィ&フューニティ

スローガンは「セイフィ&フューニティ」
完成させます。
ヒートマッサージのシステムをして
目的に沿った防災機器研究開発を行って
安全確保します。

防災設備は、さまざまな構造です。
総合防災センター・ヤマト・ロテックは
必ずしもあなたの消すことを
やさしくやせる消すことを
ヒートマッサージのシステムをして
目的に沿った防災機器研究開発を行って
安全確保します。



かんじる
しらせる
けず
感知・通報・消火

さり...

ヤマトプロテック株式会社

本社 〒537 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)976-0701代 東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代 ヒル防災設備/プラント防災設備/建築・施設設備/各種消防器

協会だより

■ 財大阪府危険物安全協会 北方面部会開催

(財)大阪府危険物安全協会北方面部会は11月20日(金)午後4時より、箕面観光ホテルにおいて門方面部会長以下9協会長出席のもと、同ブロックの各消防長を招き、開催した。

部会長の挨拶に始まり、各協会相互の資料交換、業務連絡等があり、(財)大阪府危険物安全協会宮崎事務局長より府協会事業と保安講習、並びに準備講習の実態についての報告があった。

部会終了後、懇親会に移行し、情報交換が活発に行われ和やかな雰囲気のうちに終了した。

■ 貝塚市火災予防協会 創立50周年記念式典開催



開会の挨拶をされる延生貝塚市協会長

貝塚市火災予防協会では、10月24日(土)午後1時30分より、コスモスシアター中ホールにて、多数の来賓並びに会員参加のもと、創立50周年記念式典を貝塚市消防本部発足50周年と合同で開催した。

式典では、50年にわたる地域での防火活動の貢献を称え(財)大阪府危険物安全協会理事長から貝塚市火災予防協会に感謝状が贈られた。また、記念事業として、貝塚市火災予防協会から消防用業務機材が貝塚市消防本部へ寄贈された。

続いて、優良事業所等に対し協会長より表彰状と記念品が贈られ盛会裡のうちに滞りなく終了した。

■ 泉大津市火災予防協会 創立50周年記念式典開催

泉大津市火災予防協会では、11月20日(金)午後3時30分より、リーガホテルアルザ泉大津に於いて、多数の来賓並びに関係者の出席のもと創立50周年記念式典を同市消防本部発足50周年式典と併せて開催した。

式典では、市長より同協会会長並びに副会長にそれぞれ感謝状が、(財)大阪府危険物安全協会理事長から同協会に感謝状が贈呈され、防火図画コンクール入選者の表彰等が行なわれた。

また、記念事業として同協会より消防本部へ広報宣伝車1台、パーソナルコンピューター1台が寄贈された。

引き続き、祝賀会に移行し、終始和やかな中、盛会裡に終了した。



HATSUTA

○ 株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪府枚方市船橋由近3-5 TEL (0720)56-1261
東京支社 〒105 東京都港区芝大門2丁目6-7 TEL (03)3434-4841

原点はロスフリーベンションです。
「構造・防
止」

ハツタは、あらゆるセーフティニーズに
おこたえする企業をめざします。

頑固な夢がある。
そこにある。

平成9年度 都道府県別危険物取扱試験・受験者数と合格率(%)

都道府 県名	区分	甲 種		乙種4類		丙 種	
		受験者数	合 格 率	受験者数	合 格 率	受験者数	合 格 率
北海道	319	25.4	17,656	28.5	7,140	58.0	
青森県	112	18.8	5,890	22.6	2,575	45.4	
岩手県	53	28.3	4,964	22.8	3,572	43.5	
宮城县	188	28.7	7,621	29.3	2,215	52.6	
秋田県	82	22.0	5,283	24.0	1,895	41.2	
山形県	100	25.0	3,561	29.7	1,626	49.8	
福島県	270	21.9	8,516	24.4	3,059	38.7	
茨城県	814	40.4	8,164	27.0	1,046	42.5	
栃木県	265	20.8	6,902	27.0	2,265	52.7	
群馬県	393	27.0	7,219	34.6	1,075	50.9	
埼玉県	784	36.9	5,465	42.4	1,020	75.7	
千葉県	1,253	26.3	8,187	33.2	1,235	52.9	
東京都	1,633	44.6	23,745	52.4	1,920	63.4	
神奈川県	1,580	36.7	8,735	38.3	1,744	60.3	
新潟県	192	26.0	6,897	27.6	1,918	43.8	
富山県	326	30.4	4,584	35.1	1,770	61.4	
石川県	125	36.0	4,893	29.7	702	55.6	
福井県	155	25.2	3,258	31.3	1,187	53.4	
山梨県	68	23.5	1,783	29.9	949	51.1	
長野県	147	33.3	6,493	30.0	1,842	54.4	
岐阜県	239	28.0	7,179	30.4	1,439	50.2	
静岡県	529	36.3	10,478	29.6	2,416	48.3	
愛知県	1,100	31.8	19,491	33.6	6,997	56.9	
三重県	487	31.6	6,993	31.0	725	38.3	
滋賀県	318	34.0	4,486	29.0	1,617	41.9	
京都府	263	33.5	5,416	39.8	1,534	49.0	
大阪府	1,446	46.3	14,835	42.2	3,579	56.8	
兵庫県	823	36.9	15,426	32.4	2,238	42.2	
奈良県	95	34.7	1,989	33.1	700	34.4	
和歌山県	176	33.5	2,484	33.6	637	46.9	
鳥取県	68	16.2	1,496	37.3	458	60.3	
島根県	25	28.0	2,587	35.5	706	56.4	
岡山県	667	24.7	7,690	27.5	1,487	30.9	
広島県	393	31.8	7,310	33.5	1,694	46.2	
山口県	501	33.1	7,418	29.5	1,334	45.1	
徳島県	95	30.5	2,654	25.3	360	43.1	
香川県	101	27.7	2,745	31.4	1,090	50.5	
愛媛県	250	26.8	4,052	31.1	910	42.2	
高知県	47	10.6	2,169	29.9	582	56.7	
福岡県	329	27.1	12,312	31.5	3,174	45.1	
佐賀県	110	26.4	3,227	32.3	1,529	59.4	
長崎県	69	23.2	5,686	29.1	1,714	63.5	
熊本県	199	23.1	6,072	32.3	2,213	54.4	
大分県	317	17.7	5,349	24.0	1,100	43.9	
宮崎県	146	21.2	4,564	24.9	1,180	40.0	
鹿児島県	37	21.6	6,909	22.5	2,589	34.9	
沖縄県	74	17.6	4,206	25.4	1,102	35.5	
全国	17,763	33.2	325,039	32.4	85,859	50.1	

危険物取扱者準備講習 ご案内

平成10年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	1月22日(金)、1月25日(月)、1月28日(木)	9時30分~16時	大阪府商工会館 (地下鉄 本町駅17号出口スグ)
乙種 4類	1月25日(月)、1月29日(金)	9時30分~16時	大阪府商工会館
	1月26日(火)、1月27日(水)	9時30分~16時	大阪府商工会館
	1月27日(水)、1月28日(木)	10時~16時30分	堺市民会館 (南海高野線 堀東駅ヨリ8分)
	1月28日(木)、1月29日(金)	10時~16時30分	吹田メイシアター (阪急千里線 吹田駅ヨリ5分)
	土曜コース 1月23日(土)、1月30日(土)	9時10分~16時	大阪府商工会館
	日曜コース 1月24日(日)、1月31日(日)	9時30分~16時30分	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線 本町駅ヨリ5分)

(注)甲種は3日間で、乙種(1期~4期)と土曜・日曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内にお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当てていますので、満席の節は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。
- ④ 下記受付場所と受付日時で申込が出来ないときは当協会TEL 06-6531-9717へお問合せ下さい。

受付場所		日時
東大阪市西消防署内	(近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会 1月12日(火) 午前10:00~11:30
守口消防署内	(地下鉄・守口駅前)	守口・門真防火協会 1月12日(火) 午後2:00~4:00
豊中市消防本部内	(阪急宝塚線・豊中駅南へ5分)	豊中防火安全協会 1月13日(水) 午前10:00~11:30
茨木市消防本部内	(JR・阪急茨木駅より12分)	茨木市災害予防協会 1月13日(水) 午後2:00~4:00
岸和田市消防本部内	(南海・岸和田駅ヨリ西へ10分)	岸和田市火災予防協会 1月14日(木) 午前10:00~11:30
堺市高石市消防本部内	(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会 1月14日(木) 午後2:00~4:00
吹田市消防本部内	(JR・阪急吹田駅ヨリ約14分)	吹田市危険物安全協会 1月18日(月) 午後1:30~4:00
四ツ橋ビル8階	(地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会 1月19日(火) 午前9:30~午後4:30 1月20日(水)

3. 日曜・土曜コースの申込方法

日曜コース(定員70名)、土曜コース(定員70名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費 テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成10年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,800円	18,900円
乙種4類	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円
乙種(日曜コース)	14,700円	16,800円

(注)1. 消費税込の料金です。

2. 大学、高校、各種学校の学生については、学生割引として会費は会員扱いとします。(申込時に学生証を提示のこと。)